

平成30年度宗谷管内生徒指導研究協議会

平成30年7月23日（月）
宗谷教育局教育支援課

平成30年6月11日（月）から2日間にわたり、宗谷合同庁舎2階講堂において、平成30年度宗谷管内生徒指導研究協議会を開催しました。本協議会は、管内の児童生徒の豊かな成長と発達を促すため、生徒指導上の諸問題に関する研究協議を行い、学校、家庭及び地域社会が連携協力して生徒指導の充実を図るとともに、教員の指導力向上を図ることを目的に、毎年開催しているものです。

今年度は、管内の学校から延べ54名の参加があり、「児童生徒の自殺予防」と「いじめや不登校等の未然防止を目指した児童生徒理解」を大きなテーマとして講義、演習、協議等を行いました。

○講演・演習（全体会1） 「児童生徒の自殺予防について」 講師： 北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）主査 千代 隆志 氏

講演においては、全国の児童生徒の自殺者数やその動機や原因、また、道教委が作成した自殺予防プログラムの説明がありました。

演習においては、各校における自殺予防プログラムの作成につなげることを目指し、各学校ですでに取り組んでいる命を大切にする指導について、意見交流しました。

参加者からは、「学校の日頃の教育活動の中に、命を大切にする指導が多くあることを改めて確認できた」「これまでの実践に自殺予防の視点を加えることで、命を大切にする教育の充実を図ることができると気付きました」などの感想がありました。



○講演・演習（全体会3） 「いじめや不登校等の未然防止を目指した児童生徒理解について」 講師： 北海道商科大学 教授 大友 秀人 氏

講演においては、いじめや不登校等の未然防止や早期発見及び支援につなげられるよう教育相談の充実を図ることや、スクールカウンセラーなど外部の専門家との連携を図ることの重要性などについての説明がありました。また、人間関係構築のためには、相手に寄り添って一体感を持つこと、愛情を込めて言うべきことを言うこと、などが大切であるとのお話がありました。

演習においては、学年始めの時期に学級づくりや集団づくりで活用できる構成的グループエンカウンターの手法等を体験しました。

参加者からは、「いじめがあるという前提で学級経営にあたる必要があることがよく分かった」「グループエンカウンターなど、学級づくりで参考にできる内容がたくさんあり、学校に戻って還元したい」などの感想がありました。



参加した先生からの感想

- ・「日頃の教育活動をねらいをもって見直すこと」、「温かい人間関係を作れるよう支援すること」、「自分を大切に他人を大切にする心を育てること」など、多くのことに改めて気付くことができました。
- ・命を大切にする指導では、教えるのではなく、子どもたちに考えさせることが大切だと改めて思いました。
- ・協議では、他校の取組やそれぞれの参加者の考え方などについて触れることができ、視点を広げることができました。